

北海道医療センターは28の診療科を持っています。その中で活躍する様々な診療科の先生をフィーチャーし、今取り組んでいる課題や最新の医療知識などをご紹介します。今回は消化器内科です。

## 消化器管内微細病変の早期発見にむけた消化器内科の挑戦 さまざまな最新内視鏡システムを駆使、 苦痛が少なくスピーディな検査を実現

消化器内科では、現在6名の医師で診療に対応、消化器に関する高度専門医療、救急医療、臨床研究を三本柱として診療・研究にあたっております。

このたび、医療機関の皆様方の期待にお応えすべく、診療の部位に応じたさまざまな最新内視鏡システムを導入、可能な限り患者様の苦痛を軽減する処置と、初診当日のカメラ検査対応<sup>(※)</sup>を可能といたしました。

### 最新の内視鏡システムと苦痛の少ない内視鏡検査

当院の内視鏡による形態診断は年間で約4,000件で、今後さらに増加する見込です。

そこで観察性能、操作性・挿入性のさらなる向上を目指した内視鏡ビデオスコープシステム[EVIS LUCERA ELITE(イーヴィスルセラ エリート)](OLYMPUS)を導入、高精細画像を実現したため、粘膜や毛細血管などの近接観察が可能となりました。

また、カプセル内視鏡システム(GIVEN IMAGING)を導入し、小腸用カプセルに加え、本年1月より保険適用の対象となった大腸用カプセルでの検査も可能で、消化器管内のあらゆる微細病変の早期発見を実現しております。

### 当科の内視鏡診断 2つの特長

#### ①患者様の苦痛を軽減

鎮痛・鎮静薬を用いることにより、寝た状態、もしくは意識はあっても半分は寝ている状態を目標としているため、患者様は可能な限り苦痛の少ない状態で検査していただくことができます。

#### ②初診当日検査の受診

仕事などの事由により複数回の通院が困難な方を対象に、初診当日<sup>(※)</sup>の胃カメラや大腸カメラ検査を行っております。

※ 当日の飲食を控えていただき、午前10時までに来院していただく必要がございます。また、救急患者対応等の不測の事態によって当日検査ができない場合もございます。



消化器内科医師



上部消化管汎用ビデオスコープ

大腸ビデオスコープ



内視鏡ビデオスコープシステム  
EVIS LUCERA ELITE(OLYMPUS)



大腸内視鏡カプセル



データレコーダー

カプセル内視鏡システム  
(GIVEN IMAGING)

## 【消化器内科】

診療の特色

- \* 検診で指摘された異常所見に対する内視鏡検査、CT、MRI等による精密検査
- \* 腹痛等消化器症状のある患者様の精密検査と治療
- \* 肝臓がんの内科的治療

入院対象疾患

- \* 消化器疾患一般

\* 写真上段左より

医師:羽田 政平(H15 弘前大卒)、医師:馬場 麗(H14 旭川医大卒)、医師:曾根 孝之(H24 弘前大卒)

下段左より

医長:武藤 修一(H7 北大卒)、医長:大原 行雄(S54 岩手医大卒)、医長:木村 宗士(S54 北大卒)